



●ガレージ・トータル代表
小里 誠さん

「お客さんと対話しながら、少しずつ理想に近づけてゆく作業が好き。近道なんてないから、手間を惜しみたくない」と語る小里さん。面倒見が良く温厚な人柄も人気の秘密だろう。

「Zで良く聞くのは、『HR用のパーツなんて出しても、売れないよ』という言葉。でも、うちはHRが登場したときに、いち早くエキマニを作りました。それが何故かと言えば、そこには絶対数は少なくとも、必ずHR用のパーツを『欲しい!』と思っている人たちがいるからなんです。他社さんがやらないせいもあるのでしょう、ふたを開けてみればHR用のエキマニは、ウチでも結構数が出る商品になりました(笑)」

トータルの代表である小里さんは、にこやかに語る。求めるのは、非効率。メーカーが採算が合わないと判断したものこそが、みんなが手に入れないものであり、それを手に入れることができれば、ユーザーは喜んでくれる。それがガレージ・トータルのやってゆくことなのだと小里さんは教えてくれる。

ただしその過程において重要なのは、「すぐに欲しがらないこと」だともいう。ないものを作る、でもすぐには欲しがらない。一見矛盾しているようにも思えるその真理は、

満足ゆくパーツができあがる。

「たとえばエキマニのデータは、径がφ48.6mmで、排気管長が700mm。これがウチのひとつのデータ基準としてあります。でもATのユーザーさんだと、径をφ42.7mmと細く作ってあげることで、低速トルクが出て乗りやすい、と好評だったりするんですよ。それを実現するために、ひと手間かけてあげるんです。

ちなみに排気管は、たとえばエキマニだけを变えても劇的にパワーアップすることはありません。マニ〜フロントパイプ〜触媒〜エンド、トータルにそろえてはじめて、結果がでるものだと思います。そしてそのひとつひとつのパーツが効率良いものであるほど、単体では効果が見えにくいんです。けれどその全てをそろえた上で調律(セッティング)してあげると、ノーマルとは違ったパワーやフィーリングが引き出せます。

逆にエキマニだけ変えてフィーリングが良くなるような場合は、ノーマルよりも少しだけ性能を上げていることが多いんです。フロントパイプや触媒がノーマルの状態で、若干パワーやフィーリングが上がる。だからそれ以上のパーツを組み合わせるときには、性能を狙うことができない場合が多い。ただしそれは、もっともなことでもあります。不特定多数の、顔の見えないユーザーに向けて販売するには、わかりやすさや価格の安さ、ノーマルパーツとの組み合わせというのは重要になってきますから。だから本当は、それを分かるようにして販売できていれば一番いいんですけどね」

マニホールドからエンドまでをトータルの排気でまとめた前期型のZ33は、ダイノックで約20psのパワーアップを果たしたという。それもこれも、ひと手間かけることを惜しまないからこそできた結果。これがガレージ・トータルのやり方なのだ。

求めるのは“アンチ効率主義”。

「絶対数は少なくとも、欲しい!」と思っている人たちは必ずいるんです」

一体どこにあるのだろうか?

「いまの時代、ネットなどの情報網が発達していることもあるのだと思いますが、すぐに“回答”を欲しがると雰囲気があると思うんです。でも、クルマのパーツってそこに“ひと手間かけてあげる”ことで、ぜんぜん出来映えや満足感が、変わってくるんですよ。だからときにはオーナーさんとじっくり話をしながら、仕上げてゆきます」

パイプ径の太さ、集合後の長さ。エンジンの仕様、一番狙いたいエンジン回転数。そういった細かなことを理解しあえてこそ、



トータルには日本で唯一、といわれるバイク用のダイノ・バックがある。もともとバイクも好きで、ついにはハーレーなどのバイクにもチューニングを施すようになり、トータルのオリジナルマフラーをも用意するようになったのだという。エアクリーナーと燃料調整を行い、エキゾーストを変更すると水冷のハーレー、ナイトロッドなどは抜群に楽しくなるとのこと。

Garage TOTAL Exhaust Parts



●EXマニホールド

Z33初期型から380RS、ターボ用まで全て制作可能。エンジンや求める領域で仕様異なるため、メインパイプはφ42.8〜50まで幅広く取りそろえる。肉厚を12mm→6mmに変更した軽量バージョン(18万9000円)は人気。



●スポーツ触媒/ 触媒ストレート

スポーツ・キャタライザーも既に380RSまで対応したラインナップとなっている。全車検対応ガスレポート書類付き、メインφ60で14万5000円(税込)。サーキットなどクローズドエリアのみ使用可能な触媒ストレートはφ60.5で3万3600円。

!opic!

バージョンNISMO/
380RS用マフラー制作開始。
オーナーをうならせる
ディティールで登場する!!

現在トータルでは、バージョンNISMO(以下Ver.NISMO)専用のエキゾーストシステムを考案中。その概要は、Ver.NISMOのリアバンパーアウトレット形状を活かし、その中にエキゾーストを納めてアンダーディフ

ユーザーを空力方向に使用するというもので、空力を追求するVer.NISMOにとって非常に興味深いエキゾーストになる模様。排気ノードもVQ35HR本来のエンジンサウンドを活かす仕様で考案中だという。